

○ 岡山駅～国道30号線沿線において、岡山電気軌道と両備ホールディングスが運行する系統について共同して運行回数・運行時刻を設定するとともに、停留所を統一化し、利用者の利便性向上を図る。

【申請者】 岡山電気軌道株式会社、両備ホールディングス株式会社

【対象区域】 岡山駅～国道30号線沿線

【対象路線】 岡山駅より大東交差点間を運行する路線

【共同経営の実施期間】 2021年4月1日～2026年3月31日

【共同経営の内容】

① 事業の収益性等の向上の程度

- 岡山電気軌道が運行回数を減回し、運行費用を削減。
- 運行系統ごとの配置車両数も減車。
- 運行実績に基づきダイヤを見直し、遅延の少ない運行を図る。

② サービス提供維持の目標

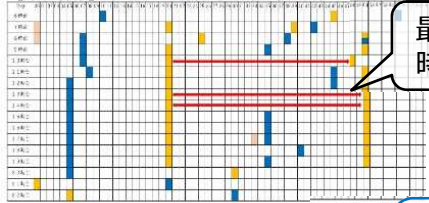
- すべての対象系統を合わせ早朝・夜間時間帯を除き、約15～20分間隔の等間隔運行を維持。
- 停留所の共通化を実施。

削減効果

運行コスト▲4,724千円(年間)
車両数 ▲2台(1日)

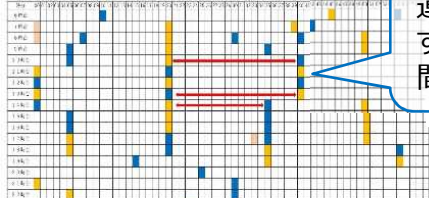
ダイヤの見直しイメージ

【平日現行】岡山駅バス停発時刻(大東方面)



最大30分の待ち時間が存在

【平日共同ダイヤ案】岡山駅バス停発時刻(大東方面)



運行回数は減回するが、15～20分間隔での運行に

路線図
共同経営開始後

赤枠の停留所を新たに両社で共通化
併せて、岡山駅～大東間のダイヤを調整

凡例	
岡山電気軌道 第E-14号系統	岡山電気軌道 第E-15号系統
岡山電気軌道 第E-16号系統	両備ホールディングス 第117号系統
	第119号系統
	第120号系統
	第152号系統
	第153号系統
	第154号系統
	第366号系統
	第367号系統
	第368号系統
	第376号系統
●	両社共通停留所
●	岡山電気軌道単独停留所
▲	※ 印は片方向のみの停車
●	両備ホールディングス単独停留所

両備ホールディングス運行各系統は大東停留所より、国道30号線を南下し、各系統の終点へ